

骨髓バンク 2008年1月 会報37号

会報発行：骨髓バンクを支援するいばらきの会 <http://ibaraki.marowjp.net/>

発行責任者：牛島英二 編集：小田倉孝夫・福間究

<事務局> 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1-1-913福間方

TEL : 029-856-7881 / FAX : 020-4668-5485 / E-mail : bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jp

新年のご挨拶

会長 牛島英二

会員の皆さん、新年おめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

昨年の骨髓バンクを振り返ってみましょう。

まず全国レベルでは、11月末現在の登録者数が297,636人で、この一年間に約3万人の増加となっており、昨年に続いて過去2番目の記録となりそうです。

また骨髓バンクを介しての昨年1月から11月末までの移植数も11月末で936例となり、このペースで行けば、年内にも目標としているドナー登録者数30万人と年間移植例数1000例達成が間近となりました。

私たちの願いである患者さんの救命に大きく寄与していることは誠に喜ばしく、今後の活動の励みとなるものです。

次に茨城県では、11月末現在の登録者数が5,919人で、目標達成率は85.6%となり、順調に増加しています。

ドナー登録会は年間36回が開催され、495名の登録者を得ましたが、各献血ルームでの登録者数も順調な伸びを示しており、骨髓バンクへの社会的な関心の高まりと共に、各ドナー登録会での献血者への県パンフレット配布効果も増加要因の一つと考えられます。

昨年のいばらきの会では新しいメンバーとして、弓野さん、長尾さん、境野さんらが参加されました。当会モットーで、今後のご活躍を期待しております。

また活動のトピックスとして、県内3認定病院に白血病関連書籍を寄贈いたしました。これは、当会会員で元患者さんのご家族からのご提案で、病初期の患者さんとご家族のご参考となることを願って実施したものです。当会では恒例となった県立こども病院クリスマス訪問と共に今後もこうした患者さん支援を微力ながら継続していく所存です。

今年もまた、県業務課、各保健所、ならびに血液センターのご指導、ご協力により、一人でも多くの県民の皆さんにドナー登録していただけるよう、いばらきの会メンバー全員の方で「一人でも多く、一刻も早く患者さんの救命に寄与する」目標に向かって

「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」

のモットーで活動して参りましょう。

ドナー登録者30万人をめざして！

謹 賀 新 年

財団法人 骨髄移植推進財団

新年を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

さて、骨髄バンク事業は設立から17年目を迎えました。

昨年は年間の移植例数が約1000件となり、ドナー登録者数もまもなく30万人を越える見通しとなりました。これもひとえに、全国各地のボランティアの皆様、医療関係者、行政関係者、日本赤十字社など皆様のご尽力の賜物であり、心から感謝と敬意を表します。

本年も一人でも多くの患者さんの救命に、全力を尽くします。

また、より一層のコーディネート期間の短縮やドナー安全対策の強化、国際協力の推進などに努めてまいり所存でございます。

皆様の益々のご発展とご健康を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

10月～12月 茨城県内イベント登録会等報告

10月10日 キヤノン阿見事業所献血併行登録会

ドナー登録者数 14名

献 血 者 数 91名(受付118名)献血バス2台

登録会参加者

土浦保健所 石渡様、藤村様

登録推進員 植村さん(つくば献血ルーム)

いばらきの会 長尾、福間明子

地区普及広報委員 福間究

キヤノン阿見事業所は、献血者の事前把握がされているとともに、献血は職場ごとの順番があるようで、献血者の流れがスムーズでした。また、バンクの資料を職場に事前配布していただくなど非常に協力的でした。当初の献血予定は150人でしたが実際は118人とどまってしまうました。業務の多忙が原因のようです。一方、バンク登録は14名にとどまってしまうました。原因はやはり多忙なこと、献血者の流れがスムーズだったため、PRをする余裕がなかったことです。反省点は5人の方に2度刺しをお願いしたことです。もっと分かりやすい広報が必要だと感じました。(福間究)

10月11日 ユニー守谷店献血併行登録会

ドナー登録者数 7名(受付8名)

献 血 者 数 48名(受付73名)

登録会参加者

竜ヶ崎保健所 坂場様

登録推進員 植村さん(つくば献血ルーム)

地区普及広報委員 牛島英二

ドナー登録者30万人をめざして！

10月～12月 茨城県内イベント登録会等報告

過去のこうしたショッピングセンターでの登録会では屋外にテントを設営しての会場設定となるのが通例でしたが、今回は店舗正面入口脇のホールに献血受付と登録会場を併設しての受付となりました。また机・イスも血液センターのものをお借りして大変助かりました。

当日の天候は予報の曇りに反して終日好天に恵まれ、来店者の出足も好調で多くの方が献血会場を訪れていただきました。

ただ、午後から日差しが会場内に差し込むようになり、献血申し込みテーブルを徐々に移動して日差しを避けるようにしましたが、献血受け付けの待ち行列に並んだ献血者の方々には少々暑い思いをさせてしまいました。

会場には血液センター前所長の柏井Drが午前中お見えになり、当日の間診担当Drはドナー登録会が初めてとのことで、不適格条件の内容確認や検査依頼伝票への署名方法などを直接レクチャーしていただきました。さらには武井業務課長や田上つくばルーム長兼土浦所長も来られて、豪華メンバーでの布陣となりました。

私もささやき作戦のかたわら、献血呼び掛けや献血申込書補充、記載要領説明、会場内誘導などに精を出しました。(牛島英二)

10月20日 鉾田総合公園献血併行登録会

ドナー登録者数 25名(受付27名)

献血者数 62名(受付80名)

登録会参加者 鉾田保健所 長洲様、吉森様

登録推進員 高橋さん(水戸献血ルーム)

いばらきの会 林、伊井

地区普及広報委員 山崎揚久

前日の雨で地面のぬかるみが心配でしたが、鉾田総合公園多目的広場は水はけも良く、また、ほぼ全面芝生であったため、雨の影響もほとんどなく、大変助かりました。広場中央にやぐらが組まれており、天候にも恵まれお祭り気分満載です。

献血開始と同時に来られたお祭り関係者の方が、バンクのドナー登録もされました。出だし好調の中、午前中13名の方の登録がありましたが、午後になると献血の方もあまり来られなくなり、一時はこのまま終了か・・・という雰囲気でもありました。原因は恒例の「餅まき」です。やぐらの周りにみんな集まり、まかれのお餅に混じって景品が当たるボールをみんな必死に奪い合います。

これでは献血どころではありません。3時半から第2回目の餅まきがあり、献血は4時まで受付という状況の中、餅まき終了と同時に、血液センターの小林さん、道口さんと一緒に「献血お願い看板」と「のぼり」を持って場内を練り歩き、「献血お願いしま～す」コールを行いました。

その甲斐あってか、4時前にお祭り関係者(それも若い方)の献血申込の方がどっとお見えになり、長～い長～い列ができました。

待ち時間があるため、バンクの声掛けもとてもやりやすく、お陰様でバンクも終了間際の追い込みで、結果25名の方に登録いただきました。みなさんとても協力的でした。

ところが、最後の方が終わる頃は5時半すぎ。あたりは真っ暗。車のライトをテーブルに向け、献血終了後の手続きをするという経験は初めてです。

血液センターの方も大変でしたが、バンク関係者の皆さんも最後まで本当にお疲れ様でした。

(伊井義人)

ドナー登録者30万人をめざして！

10月～12月 茨城県内イベント登録会等報告

10月23日 キヤノン化成岩間事業所献血併行登録会

ドナー登録者数 15名(受付17名)
献血者数 87名(受付114名)
登録会参加者 水戸保健所 湯浅様
登録推進員 高橋さん(水戸献血ルーム)
いばらきの会 川井、和田、弓野
地区普及広報委員 山崎揚久

秋晴れのすがすがしい中、屋外でのテントを張って、献血車2台での献血併行型ドナー登録会でした。会場裏手が建設真っ只中の工場だった為、建設の音が多少気になりました。皆さん仕事が忙しいのか献血やドナー登録は終始それほど並ばない状況で終わってしまいました。参加された皆様大変お疲れ様でした。(山崎揚久)

10月27日 神栖市民体育館献血併行登録会

ドナー登録者数 16名
献血者数 43名(受付73名)
登録会参加者 潮来保健所 安澤様、床宿様
登録推進員 高橋さん(水戸献血ルーム)
いばらきの会 伊井
地区普及広報委員 牛島英二

当日は朝から台風の接近通過による強い風雨が終日続き、最悪の状況での登録会開催でしたが、イベントへの来場者大幅減少と連動して登録者数の低調が予想されました。しかしながら蓋を開けてみると、悪天候にもかかわらず多くの市民の皆さんがイベント会場を訪れて、献血バス内の問診採血待ちの行列ができるほどの盛況となり、登録者数もうれしい誤算となりました。特に、昼休みの献血受け付け休止時間中にも数名の方に登録と献血受け付けをしていただき、昼休み中の交代休憩による受付体制の継続効果を改めて実感しました。また、私は終日会場入口付近での「献血おねがいします」呼び掛け担当をして、登録会場内のささやき作戦担当を地区普及広報委員でもある伊井さんに全面的にお願いしましたが、伊井さんの百戦錬磨の巧みな接客術・会話術が登録結果の好調要因でもありました。イベント会場では、市主催の産業祭、消費生活展、芸術祭と多彩な催しが開催されていて、その中でも恒例の食品類の無料配布が悪天候でも多くの市民来場要因であり、午前中開始早々に献血会場入口付近にできた大行列に、後から来る市民が「これ、何の行列？」と言いつつ何が配布されているのかわからないうまま行列に加わる様には、少々笑えました。潮来保健所からは床宿さんに受付担当としてご参加いただきました。床宿さんには薬務課ご担当時に現在の献血併行型ドナー登録会実施体制を平成14年度に創始していただいたご恩があり、久しぶりにお元気なお姿を拝見し、実施初期の頃と現在の受け付け方式の変貌などについて、懐かしくお話をさせていただきました。(牛島英二)

ドナー登録者30万人をめざして！

10月～12月 茨城県内イベント登録会等報告

10月28日 みなと産業祭（那珂湊港）献血併行登録会

ドナー登録者数 14名(受付15名)
献血者数 57名(受付83名)
登録会参加者 ひたちなか保健所 延島様、野上様、高橋様
登録推進員 大越さん(日立献血ルーム)
いばらきの会 川井、山崎
地区普及広報委員 伊井義人

昨日の大嵐が一転、快晴の中での登録会となりました。

会場設営は前日の大雨の影響で前日準備ができず、出展者の皆さんは当日朝早くから頑張っておられました。

献血コーナーに割り当てられた区域(範囲)は、見取り図とはかなり違い、多少ずれましたが、なんとかテント2張り分は確保できました。これも那珂湊献血連合会の徳武さんのお陰だと感謝しております。

開会式が約1時間あり、炎天下の中、皆さん大変そうでした。(特に直射日光が当たる学校のプラスバンドの方々。顔も真っ赤でした)お祭り開始と同時に大勢の方が行き交う中、献血コーナーもボツボツ人が集まりだし、バンクの方も結構いいペースで登録希望の方がおいで下さいました。

午前中で8名の方に説明いたしましたが、うち1名の方が献血の順番待ちの間に、まだお子さんも小さいからとかで思い直したようで、結果、献血の申込みのみ提出されました。その方にはチャンスをお渡しし、申込書を献血ルーム等へ持参すればいつでも登録できる旨、お話ししました。献血者がとぎれる時も結構ありましたが、献血ノボリやバンクノボリを持って場内を練り歩き、「献血ご協力お願い」コール＆「バンク登録会やってます」コールを3回ほど行いました。

ノボリはほとんどの方が一度は目をやってくれるので、心理的に効果があったと信じています。

血液センターの方も炎天下の中、広場中央付近でずっと看板、ノボリを持ってコールしておりました。

午後に入ってもほぼ午前中と同じようなペースで献血者の方がおいで下さいました。

結果として、14名の登録者があったことは、本当にありがたいことです。参加された皆様、暑い中、大変お疲れ様でした。(伊井義人)

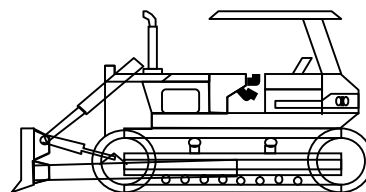
10月28日 建設フェスタ（つくばみらい）献血併行登録会

ドナー登録者数 8名
献血者数 51名(受付73名)
登録会参加者 つくば保健所 赤澤様
登録推進員 植村さん(つくば献血ルーム)
いばらきの会 細谷、境野、宮城(神奈川)
地区普及広報委員 福間究

台風一過の快晴で絶好の登録会日和でした。

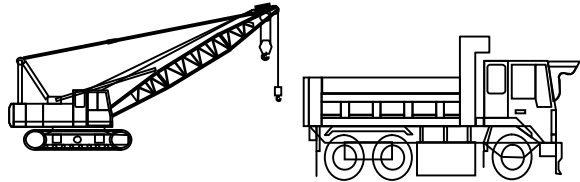
前日の雨で地面の状態が心配でしたが、ぬかるみもなく安心しました。しかし、献血・登録会会場は、ぬかるんでいるときに入った自動車のわだちで地面が変形していたため、急きょ、場所の変更となりました。建設フェスタは子供向けのイベントなので、

付き添いのご両親も献血・バンク登録で子供を待たせておくわけにもいかず、登録は8人どまりでした。建設フェスタにいばらきの会より、巨人軍主力選手のサインボール12個をオークション用に寄贈しました(いばらきの会から巨人軍に依頼し、巨人軍のファンサービス部よりいばらきの会に建設フェスターオーク



ドナー登録者30万人をめざして！

ション用として寄贈を受けた貴重品です)。その為、建設フェスタ事務局からは、「場内放送でバンクのインフォメーションをしますから」と特別な計らいを頂き、いばらきの会からウグイス嬢の植村さんに献血と登録要請の場内放送を3回行ってもらいました。



結局、サインポールは貴重すぎて、オークションにかけるとマニアに落札される恐れがある等の理由で上棟式の餅まき(子供だけ参加)の特別景品として無事に子供さんの手に渡りました。(福岡究)

10月28日 阿見町さわやかフェスタ2007 献血併行登録会

ドナー登録者数 4名
献血者数 64名(受付87名)
登録会参加者 土浦保健所 石渡様、藤村様、江橋様
いばらきの会 長尾、鈴木、和田、湯本
地区普及広報委員 小田倉孝夫

前日までの悪天候が嘘のような快晴で陽射しもきついなかでの登録会でした。開催した場所が建物の陰に隠れてしまうような場所でしたので思うように勧誘も出来ず久々の完敗でした。当初は登録者が0名ではないかとの思いもありましたので取りあえず、4名の登録者がいてほっとしております。参加された皆様、大変お疲れ様でした。(小田倉孝夫)

11月2日 キヤノン取手事業所献血併行登録会

ドナー登録者数 29名
献血者数 142名(受付192名)
登録会参加者 竜ヶ崎保健所 坂場様、加藤様
登録推進員 植村さん(つくば献血ルーム)
いばらきの会 貫井夫妻、稲葉、望月、佐藤(信)、長尾
地区普及広報委員 牛島英二

昨年5月に続いて、今年で3回目の開催です。献血バス3台という県内でも屈指の大型献血会場での併催であり、過去2回でも20名、30名のドナー登録実績があり、今回も前回並みの29名の方々に登録していただきました。午前中は献血者、登録者ともに低調でしたが、午後開始直後から多くの社員の方々が会場を訪れて、献血受けや問診前には長い行列ができましたが、前回の経験を活かして献血受付4名、問診医師3名、検査採血はそれぞれのバスの中という受け入れ態勢が功を奏して、比較的スムーズに会場運営ができました。また、献血受付の背面壁に「ドナー登録希望の方は献血受付に申し出てください」という掲示や、受付待ちの行列に対する同様の呼びかけもあり、二度刺しの方は2～3名に抑えることができました。今回は取手支部のメンバーが多く参加していただいたのでささやか作戦を全面的にお願いし、私は会場内の案内係と質問応答などに専念しました。なお、会場には貫井さんのお声掛けで取手市社会福祉協議会の職員の方2名が会場を視察に訪れ、一通り視察の後お二人ともドナー登録していただきました。(牛島英二)

ドナー登録者30万人をめざして！

11月7日 筑波大学献血併行登録会

ドナー登録者数 10名(受付11名)

献血者数 43名(受付72名)

登録会参加者

つくば保健所 赤澤様

登録推進員 植村さん(つくば献血ルーム)

いばらきの会 長尾、福間明子

地区普及広報委員 福間究

学生さんが多い、いつもの会場が工事中のため、変更になりました。

今回の会場は留学生会館の前のため、通るのは90%は外国の方です。

また、前の道路は学生さんが教室を移動する度に自転車ラッシュで、まるで、国連でワールド筑波大学を見ているようでした。

さらに、高校生の団体がいたり、どこかのシルバークラブの歩こう会らしき集団が通ったりと変わったところでした。

さて、大学での献血・登録会は学生さんの都合したいで、人が多いのは、昼休みと授業の終了後ですが、今回の場所は学生さんが滞留しないで自転車で通り過ぎる場所でしたが、何とか10人の方に登録していただきました。

なお、筑波大学での献血・登録会は、今まで、医学学群長の管轄でしたが、来年度からは大学本部の事務方の担当に成るそうです。また、献血の回数も2回から3回に増えるそうです。(福間究)

12月10日 潮来保健所単独登録会

ドナー登録数:46名(受付48名)

登録会参加者

潮来保健所 受付 安澤様、床宿様

問診 保健所 港様

採血 保健師 3名

潮来保健所は毎月2回の定例受付を行う固定窓口ですが、今回は波崎町にお住まいの生命保険会社に勤務する方のご息が悪性リンパ腫を発病され、その方の勤務先職場の方々にお声掛けしていただき、保健所での単独型登録会として急遽実施することが決まったものです。

12日も2回目の登録会が予定され、さらにご息が通う高校PTAの方を対象として、1/22にも波崎町の鹿島労災病院での献血併行型登録会も開催が決定しております。

(ご息には幸いにも骨髄バンクによるドナー候補者が見つかり、移植が来年2月頃に予定されております。)

朝9時からの受付開始直後からひっきりなしに数名ずつのグループで職場の方々が会場を訪れ、ご登録いただきました。

事前の情報で40名規模の登録が見込まれておりましたので、効率よく登録受付を行うため説明部分はビデオ上映方式として、申込書記載完了の方から順次受け確認する手順でありお待たせすることもなく、順調に進行することができました。

結果として46名もの方々にご登録いただくことができ、誠にありがたいことと感謝しております。

県内過去最高の49名の記録更新には一歩及ばずでしたが、単独型としては過去最高を記録いたしました。

ドナー登録者30万人をめざして！

10月～12月 茨城県内イベント登録会等報告

潮来保健所様には、当初年間計画では2回の開催でしたが、1/22分まで含めると合計6回もの登録会を開催していただくこととなり、大変積極的なご対応に対して、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

(牛島英二)

12月12日 潮来保健所単独登録会

ドナー登録数: 27名(受付27名)

登録会参加者

潮来保健所 受付 安澤様、床宿様、内田様
問診 保健所長所長
採血 保健師 2名

一昨日に続いて2回目の単独型登録会で、本日も27名の方々にご登録いただきました。

私は本業都合つかず参加できませんでしたので、本日は保健所単独で登録会の運営一切をお任せすることとなり、大変恐縮しております。

13日も固定窓口としての定例登録受付(1)が実施されますが、既に複数名の方のご登録が予定されており、三日間合計で80名近いの方々にご登録いただくこととなります。

患者さんのご家族のお申し出が発端となった今回の登録会でしたが、ご家族の熱意と、職場の皆さんの大きなご協力と、そして何より潮来保健所の大変積極的かつ好意的なご対応に心より感謝いたしますと共に、厚く御礼申し上げます。(牛島英二)

注釈 1 13日と27日に行われました潮来保健所定例登録受付は36名の方々にご登録頂きました。

12月14日 境町立境第二中学校講演会報告

本日、境町立第2中学校の講演に講師として招かれ講演をしてきました。

仕事の段取りをつけてから学校に行った為に到着予定が大幅に遅れてしまい講演開始20分前に学校に到着となってしまうバタバタしてしまい先方様にも心配を掛けてしまいましたが無事終了しました。

講演会は「教育家庭学級」という時間帯で行なわれたのですが、話を伺ったところ、「総合学習」の父兄版(!?)みたいなものだそうです。

残念ながら私が話をするときは父兄が20名ほどしかいなく当初はバンクのシステムと現状を中心に話を進める予定でしたが急遽内容を変えて、中学生のみなさんを中心とした話に切り替えて進める事にしました。

と、そこまでは良かったのですが事前に用意していたストーリーが使えなくなりぶっつけ本番の話になってしまい、話がしどろもどろになってしまい、話したかった事の1割くらいしかいえなかったのが残念ですが、決して上手な話は出来ませんでした。皆さんに真剣に聞いて頂き中学生の皆さんに多少でも理解してもらえたら良いと思います。(多少、飽きてしまった生徒が数人居ましたが)生徒さんと父兄の皆さんから後でアンケートが送られてくるようなのでどのような感想がくるか、ビクビクしています。

さて、この学校ですが、常日頃このような講演などを通じて生徒の教育に役立っているようで、赤ん坊の子育て体験学習などを今年は実施したようで大変子供たちに役立ったようです。

以前、この学校の生徒さんがつくばの献血ルームに千羽鶴を届けて頂いた事がありました。この経緯についても先生から伺いましたが、プロジェクトXのコミック版を学校の図書室で読んだ生徒が学校の文化祭で骨髄移植に関する学習発表をした際に生徒の皆と折ったものをルームのほうに届けたとの事でした。その文化祭での白血病などに関する学習発表は今年も行なわれたとの話を聞いて嬉しく思いました。

以前、山崎さんなどが不快な思いをした、某専門学校の生徒もこのような教育環境に育っていなかったんだらうな?とふと思った次第です。今回は私の念願だった若年層の人たちに接する機会ができた事は非常に感無量の思いで帰ってきました。

なお、学校に対して招いていただいた御礼に本を4冊ほど寄贈させていただきました。

(小田倉孝夫)

ドナー登録者30万人をめざして!

10月～12月 茨城県内イベント登録会等報告

12月16日 茨城県立水戸こども病院クリスマス訪問

(参加者) 小田倉、川井、湯本、和田、植村、田崎、弓野、伊井

16日に行いましたこども病院クリスマスプレゼントのご報告をいたします。

待ち合わせ時間が13時15分のところ、ほとんどの方が12時45分頃到着。全員集合も13時過ぎということで、予定よりも早く集合できました。それだけ皆さん、気合いが入っていたのでしょう。(たぶん)参加者は全部で8人、用意したプレゼントは86個。その他、コアラの小さなぬいぐるみ約60個と、もちろんバルーンです。

今年はサンタ5人の他になんとトナカイが3頭も。特に目を引いたのが、初登場のレディーストナカイ。とても可愛くてよ～くお似合いです。もちろんレディースサンタ3人も負けてはいません。

みなさんとてもとてもチャarming(ん、死語?)でしたよ。

ノロウイルスの影響で2A病棟は入れないとのことでしたので、まずは2B病棟へ。

入室ができる病室では、直接目の前でバルーンを作ってプレゼント。突然乱入してきたサンタ&トナカイの集団にビックリした様子のお子さんもいたり、お母さん、お父さんが一緒に記念写真を撮ったり。

入室できないところはガラス越しにバルーンの実演。奥のベッドに寝ていた男の子が、ゆっくりと起き上がり、バルーンが完成するのを一生懸命見ていました。

渡されたトンボをととても嬉しそうに振ってくれて、本当に来てよかったと思った瞬間でした。

続いて2C病棟へ、こちらも病棟内はご遠慮を、との事前情報でしたが、すんなりと入れて下さいました。ここは小さなお子さんが多く、お家の方がいないお子さんには枕元や足元にソッとプレゼントを置いてきました。

2A病棟はもちろん入れません。入り口で人数分のプレゼントとコアラ、バルーンをワゴンに乗せて看護師さんへ。そして3A病棟へ。ここは新生児室ということで、プレゼントは渡さず、バルーンのみ人数分を作ってお渡ししました。(コアラはちょうど2Aで終了)。

4つの病棟で合計53個のプレゼントとなりました。残ったプレゼント33個は、今回の訪問でお世話になった成育在宅支援室の木村さんが、ちょうど今週末にクリスマス会を予定しており、使わせていただければありがたい。ということでしたので、喜んでお渡ししてきました。

これまでは土足のままでは入れなかった病棟でしたが、2B、2C病棟ともそのままOKだったことには、ちょっとビックリ。

でも、平成13年から連続7年目となりましたが、今年もみんなの喜ぶ顔が見られて本当に充実した1日となりました。参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。(伊井義人)

12月21日 水戸看護学校講演会報告

湯本です。

先週末の12/21(金)に行われました看護学院での講演の報告をさせていただきます。

今年でもう三度目というのに、私たちは相変わらず最初からドキドキっぱなしでした。

それでも、去年までと同様に担当の先生が入れて下さったあたたかいコーヒーをいただくと幾分気持ちは落ち着きました。学生さんたちは学期末の大掃除を終えたばかりとのことで、廊下も階段もとてもきれいになっていました。掃除が行き届いているとやはりよいものですね。

去年までと違って、教室の後ろのほうは机を入れずに椅子に座るだけというふうにしてあったせいか、それほどキチキチな感じはしませんでした。

でもやっぱり熱気でムンムンしてました。いつものとおり、まず最初に「骨髄移植とはなんぞや」という内容のVTRを見てもらいました。

ドナー登録者30万人をめざして!

10月～12月 茨城県内イベント登録会等報告

ただ、10年以上前に作られたものなので、ドナー登録が20歳からとなっていたり移植風景も少々古く、上映後補足説明が必要で、newバージョンがあったらいいな、と思いました。

私は主として「医療者とのかわり」「命はなぜ大切か」ということをお話したつもりです。

毎年変わりばえのしない話で申し訳ないなと毎回思うのですが、例年設けている質疑応答タイムに今年はこれまでになくたくさんの質問をいただきまして、「時間に余裕があったらやろう」と思っていたバルーン製作がまったくできませんでした。

最後に早口で骨髄バンクといばらきの会のPRをしたらちょっと時間オーバーしてしまいました。

終了後、これまた例年通りに反省会でしたが、「たった一言でも私たちの言葉がみんなの心に届くならそれだけでも価値あるよね、こうしてお互い元気になれた姿を見てもらって、これから実習が始まるみんなのやる気増につながるといいね」と私たち自身にとっても、今ある自分を見つめなおすよい機会になったと思います。

一昨年から引き続き三回もこうした機会を与えていただきまして、本当にありがとうございました、私の番はこれで終わりですので、来年度は植村千絵美嬢のドナー体験談などもよいかと思います。

チーちゃん引き続きよろしくね。(湯本倫子)

今年も水戸医師会看護学校へ講師として呼んで頂き、湯本さんと2人で病気になってどうゆう体験をしたかを看護師の卵の1年生79名へ話してきました。

実は私、2日前から体調を崩し「急性腸炎」になってしまい当日も行けるか不安でした。でも毎年、先生方にはよくして頂いてお世話になっているので、これは休む訳にはいかない！！と気合いを入れて行ったのですが、皆さんの前に立ったとたん何を話したらいいのか頭の中が真っ白になってしまっすぎて焦りました。

3年目とゆう油断があったのか、今年の話は今までやってきた中で一番良くない結果になってしまい、聞いて下さっていた皆さんにも申し訳ないし、私自身話したい事が上手く話せずに後悔しています。

湯本さんは毎年の様に今年も落ち着いていて、隣で聞いていた私が感動し涙が溢れてきてしまいました。毎年湯本さんには沢山フォローして頂き本当にありがとうございました。湯本さんが長野へ帰る為、今年で2人での講演は最後になりました。淋しいです。

来年、引き受けて下さる方がいれば是非お願いします。出来れば骨髄移植経験者がいいと先生はおっしゃっていました。

または元気いっぱいでの入院生活を体験したドナーの方も一緒にしたら尚いいと思います！

今年も貴重な体験をさせて頂き感謝しています。

本当にありがとうございました。(和田 かず美)

募金を寄せて頂きました。

当会会員の和田かず美さんが勤務しております、(株)サンアメニティ茨城支社石岡事業所様より募金金額 ¥1,028を寄せて頂きました。これは事業所内に骨髄バンク募金箱を設置して頂いて皆様からの善意の募金をして頂いたものです。

関係の皆様、ありがとうございました。今後ともご支援のほどよろしく御願います。(事務局)

ドナー登録者30万人をめざして！

1月～3月の登録会予定

平成19年度も残すところわずかとなりましたが、今年度の登録会終盤戦が下記の内容で行われますので皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

- 1月22日(火) 鹿島労災病院(担当地区普及広報委員 牛島)
 - 1月23日(水) 航空自衛隊百里基地(担当地区普及広報委員 山崎)
 - 1月28日(月) 中野冷機(担当地区普及広報委員 細谷)
 - 3月6日(木) ジャスコ常陸大宮店(担当地区普及広報委員 伊井)
 - 3月25日(火) 坂東市児童福祉センター(担当地区普及広報委員 福間)
- 上記登録会に関するお問い合わせは事務局までお願いいたします。



会員の皆さん、改めまして、あけおめ、ことよろ。(^^)

昨年私の一年を振り返ってみると、本業では近年にない超多忙状態が通年継続し、正に目の回る忙しさでした。

さすがのうっしー精密コンピュータもハードディスクが壊れかけ、梅雨頃に健康面で絶不調状態となり、通院治療を余儀なくされてしまいました。若い頃のような無理の利かない体と年齢になったんだと改めて実感させられましたが、それもそのはず、もう55歳です。(孫も一人おります。とてもかわいいです。(^^)) 私の主義として、骨髄バンクボランティアを人生のライフワークと位置付け、そのための糧(プラス家族を養うため)を得るためにしかたなく本業に励むこととしており、以前のように仕事では全力を尽くさず適当に手を抜いて? ライフワークには全力を尽くすことにしております。

しかしながらボランティア歴よりも本業歴のほうが長いので、ついつい本業に力が入ってしまったことが今回の体調不良の原因です。

従い、この反省を踏まえて今年以降、さらに本業の手を抜くことをここに誓います。(^^)

さて我がいばらきの会は99年創立以来、今年で10年目を迎えることになりました。

全国のボランティア団体の諸先輩・大先輩は、記念行事開催や記念誌発行などを手掛けられました、当会にはそんな実力も余裕もないため、心新たにこれまでの登録会中心の活動を継続していきたいと考えております。

(もしかしたら上記の手抜きが功を奏すれば私の気まぐれで記念誌のようなものを作ればと目論んでおります。)

会報冒頭のご挨拶でも述べましたように、骨髄バンクとしては全国目標達成ですが本県はまだ9割の達成率です。まずは本県目標達成を目指しますが、達成されたからといって活動をやめるわけではなく、白血病が薬だけで治る時代が来るまで、骨髄移植という治療法が有効である限り、私たちの活動は続きます。

「一人でも多く、一刻も早く患者さんの救命に寄与する」を胸に、でも「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」で活動して参りましょう。今年一年、皆さんの活動への積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

ドナー登録者30万人をめざして!

『骨髄バンクを支援するいばらきの会』メーリングリスト(ML)に参加しませんか？

いばらきの会では、パソコンや携帯のメール機能を使った情報交換をしています。イベントや登録会の案内など新しい情報が届いたり、投稿もできます。まだ登録していない方はご参加お待ちしております！

メーリングリスト(ML)って？

グループ専用のメールアドレスあてにメールを送ると、グループメンバーにメールが配信され、届いたメールに返事を出すと、再び全員にメールが配信されます。

登録するにはどうすればいいの？

グループの管理人(福間)bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jpのアドレスへの名前と登録希望のメールを送ってください。管理人よりグループへ登録次第、メールにて連絡します。

骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義:00110-3-127575

心のもったご寄付をありがとうございました。(2007.10.1~12.31)

お寄せいただいたご寄付のうち会費未納の会員からは会費(年2,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

大屋隆子様 3,000円

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしく御願い申し上げます。

ドナー登録は18歳から54歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。1人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。また、骨髄移植推進財団ホームページからも事前のお申し込みが可能となりました。ドナー登録についての詳しい説明もございますので是非ご覧ください。http://www.jmdp.or.jp/index.html

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数:297,636人(県内5,919人)

骨髄移植希望者(患者数):2,340人(海外957 県内36人)

バンクを通じての移植例数:8,715例(海外163県内移植数161例、県内採取数175例)
(2007年11月末現在)

(財)骨髄移植推進財団 ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

財団フリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット <http://donorsnet.net> まで

ドナー登録者30万人をめざして！